

奄美の風だよ

発行・編集：奄美自然体験活動推進協議会

NO. 23

(冬号：6)

2006. 1. 10

A N C : News Letter



「ツワブキ」 大和村 H18年1月撮影

この冬は全国的に厳しい寒波に見舞われている様子が報じられていますが、奄美も同じで12月に入って急に冷え込みが厳しくなり、しかも強い北風がヒュー、ヒューと音をたてて吹きつける真冬の気候になりました。

幸いにも新年早々は小雨模様ながらも穏やかな天候に恵まれました。その後は再び悪天候に戻っていましたが、ここ数日間は風もなく穏やかな日が続いています。そんな暖かな陽気に誘われて出掛けてみますと、県道沿いの法面には、11月頃が旬のツワブキの花がまだ綺麗に咲いていました。山地ではヒカンザクラのつぼみが今にも咲きそうにふくらみはじめています。

久しぶりに訪れた大瀬海岸(笠利町)では、ソリハシセイタカシギを見ることができました。ちょうど奄美野鳥の会の方が来られていたので、フィールドスコープを覗かせてもらおうと、干潟で餌を探して歩いている姿がはっきりと確認できました。奄美で観察されるのは初めてと話されていました。

例年にない厳しい寒さに暖かな春が待ちどろしい今日この頃です。

協議会活動報告

第6回やせいのいきもの絵画展

テーマ「奄美の海のいきもの」

展示期間：平成17年12月4日（日）～平成18年1月31日（火）

平成17年12月4日～平成18年1月31日の間センターと協議会の共催で第6回「やせいのいきもの絵画展」が行われています。

私達の住んでいる奄美の島々は美しい海に囲まれ、多くの人々が子供の頃から魚釣りや貝採り、春先にはアオサ採りに、そして夏には海水浴にと海の恵みを受けてきました。

第6回絵画展では身近にある海の生き物を描いてもらおうと、テーマを「奄美の海のいきもの」と題して作品を募集しました。

奄美群島内外からたくさんの応募があり、応募校は29校（個人含）で総数は407点もありました。

絵画展初日の12月4日（日）に企画展示室で、入賞した児童のみなさんとお母さん方が出席されて表彰式が行われました。協議会会長の永田武光大和村村長は「みなさんの手によって素晴らしい作品が出来上がりました。今にも生き物が飛び出してくそうな絵もあります。これからも生き物について勉強して大切に作る気持ちを育ててください」と挨拶されました。そして入賞者一人一人へ賞状と副賞を手渡されました。

いきもの大賞に輝いた朝日小学校5年生の坂本晃樹君は「絵画展のことは新聞で知りました。大賞を受賞してうれしい」と感想を話してくれました。

展示してある作品を観ながら子供たちは「友達の絵もある、きれい」と話していました。

期間中に子供さん達の作品をご覧いただけたらと思っています。

絵画展の様子



表彰式



第6回絵画展入賞者及び作品名

賞	入 賞 者	題 名	学校名(学年)
いきもの大賞	竹 中 信 坂 本 晃 樹	ミノカサゴ やどかりと仲間たち	大棚小学校3年 朝日小学校5年
あざやか賞	前 園 拓 洋 佐 藤 愛 子 田 下 哲 也 東 江 優	ふしぎな海の世界 あっちにいたり こっちにいたり マダイ 島の贈り物	赤徳小学校2年 大和小学校2年 赤徳小学校5年 今里中学校3年
ユニーク賞	大 石 眞 子 中 あ か り 岩 泉 大 豪 徳 島 美 咲	かわいいねスナガニ 大きなクラゲがきたぞ イソギンチャクにかくれるクマノミ 竜宮城へ向かう青海ガメ	大棚小学校1年 大和小学校3年 大棚小学校5年 大棚小学校6年
審査員特別賞	東崎明日香 藤 村 倖 生	ウツボの朝ごはん イセエビ	阿伝小学校3年 大棚小学校4年

絵画展出展校（応募総数407点）

学校名	作品数	学校名	作品数	学校名	作品数
手々小学校	2点	赤徳小学校	65点	阿室中学校	2点
赤木名小学校	5点	秋名小学校	10点	龍南中学校	13点
上嘉鉄小学校	12点	大棚小学校	20点	今里中学校	3点
阿伝小学校	13点	名瀬小学校	88点	東城中学校	2点
知根小学校	27点	大和小学校	48点	絵画教室	10点
押角小学校	2点	湯湾釜分校	5点	個 人	11点
龍郷小学校	29点	手花部小学校	6点		
戸口小学校	9点	上小川小学校	27点		

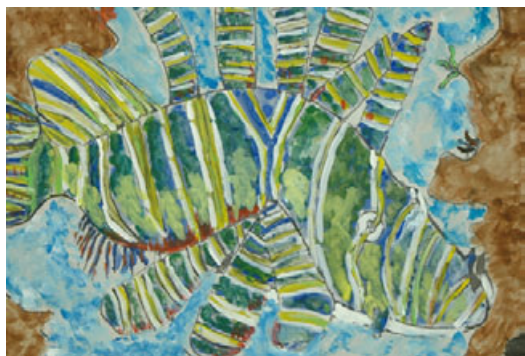
絵画展をご覧になった方からのご感想



入賞作品の紹介

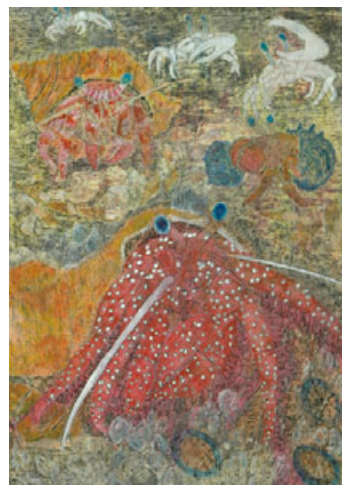
「いきもの大賞」

低学年の部



「ミノカサゴ」
竹中 信(大柵小3年)

高学年の部



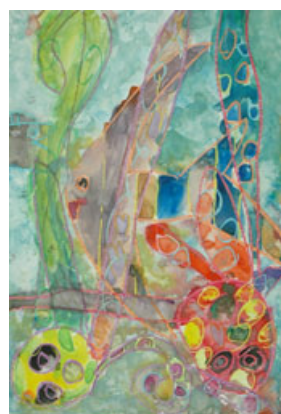
「やどかりと仲間たち」
坂本晃樹(朝日小5年)

「あざやか賞」



「ふしぎな海の世界」
前園拓洋(赤徳小2年)

低学年の部



「あっちにいたり こっちにいたり」
佐藤愛子(大和小2年)



「マダイ」
田下哲也(赤徳小5年)

高学年の部



「島の贈り物」
東江優(今里中3年)

「ユニーク賞」



「かわいいねスナガニ」
大石 眞子（大柵小1年）

低学年の部



「大きなクラゲがきたぞ」
中あかり（大和小3年）



「イソギンチャクにかくれるクマノミ」
岩泉大豪（大柵小5年）

高学年の部



「竜宮城へ向かう青海ガメ」
徳島美咲（大柵小6年）

「審査員特別賞」



「ウツボの朝ごはん」
東崎明日香（阿伝小3年）



「イセエビ」
藤村倅生（大柵小4年）

新聞記事



4日に始まった「やせいのいきもの絵画展」

色鮮やかな作品ずらり

「奄美の海の生きもの」絵画展始まる

大和村恩勝の環境省奄美自然保護官事務所（奄美自然保護官事務所）とて奄美の自然や生き物と身近に感じ、よも観察する力を身に付けさせたい（同センター）と奄美自然体験活動推進協議会と同センターが企画し、毎年開催している。今年は二十校から四百七点の応募があった。午後からは同所企画展示で表彰式があった。ウツボの絵を描き、審査

員特別賞を受賞した東崎明日香さん（阿久小三年）も喜界島から母親と共に駆け付けた。カメの絵を画用紙にばい描き、入賞した佐藤悠さん（大和小一年）は「描いてみてうれしかったし楽しかった」と話していた。

作品展示は来年一月三十一日（午前十一時）午後四時半）まで。

自然保護官事務所



やせいのいきもの絵画展

竹中君、坂本君に大賞

入賞作品展、保護センターで

大和村恩勝の環境省奄美自然保護官事務所（奄美自然保護官事務所）が主催した第六回「やせいのいきもの絵画展」の入賞作品が、四日、同センター企画展示室で表彰式があり、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

入賞者は次の通り。

【「やせいのいきもの」低学年の部】竹中君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

【「やせいのいきもの」高学年の部】坂本君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

【「やせいのいきもの」小学生の部】坂本君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

【「やせいのいきもの」中学生の部】坂本君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

【「やせいのいきもの」高校生の部】坂本君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

大賞

坂本晃樹くん（朝日小五年）
竹中 信くん（大和小三年）

絵画展で表彰式

野生生物保護センター

やせいの生きもの絵画展



第6回「やせいのいきもの絵画展」の入賞者たち

大和村恩勝の環境省奄美自然保護官事務所（奄美自然保護官事務所）が主催した第六回「やせいのいきもの絵画展」の入賞作品が、四日、同センター企画展示室で表彰式があり、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

入賞者は次の通り。

【「やせいのいきもの」低学年の部】竹中君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

【「やせいのいきもの」高学年の部】坂本君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

【「やせいのいきもの」小学生の部】坂本君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

【「やせいのいきもの」中学生の部】坂本君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

【「やせいのいきもの」高校生の部】坂本君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

【「やせいのいきもの」低学年の部】竹中君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

【「やせいのいきもの」高学年の部】坂本君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

【「やせいのいきもの」小学生の部】坂本君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

【「やせいのいきもの」中学生の部】坂本君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

【「やせいのいきもの」高校生の部】坂本君（阿久小三年）と坂本君（阿久小三年）が、合わせて来年一月三十一日までの予定で作品展示が始まる。

身近な生きもの情報

野生の生きもの観察日記

『冬の自然日記：国境の見える島から』

12月に入り、強い寒波の訪れと共に一気に冬がやってきました。風速10m/sを超える強い風が吹き（最大瞬間風速では20m/sを超えることも）、海は時化模様。空からは小さな氷の粒、^{あられ}霰が降って来る日もありました。そして山を見ると、紅葉したハゼの木が緑で覆われた深い森に彩りを添えています。



2005年の後半は、奄美の野鳥観察でいろいろとトピックがありました。11月に笠利で観察されたソリハシセイタカシギ（左）は奄美で初めて記録された鳥で、多くの人が観察に行きました。また龍郷で観察されたアオシギ（右）もおおよそ20年ぶりの渡来で、通常は山地の溪流にいるはずが、水田地帯の畦道の上で発見される珍しいケースでした。その一方で、去年はセンター前の芝生広場でよく見られた、

シロハラやツグミといった冬鳥が12月中旬の時点でほとんど見られず、今年は冬鳥の少ない年のようなと言われています。もしそうだと、2002年シーズンから1年おきに冬鳥の多い年と少ない年が繰り返されることになります。夏鳥と比べ、冬鳥の渡来に年によって大きな差ができる理由は、奄美より北の地域で鳥の食べ物となる植物の実がどれくらい実ったかが関係しているようですが、詳しいことはまだ分かっていません。皆さんのところに冬鳥は来ていますか？



11月下旬、西日本のセンターが集まる会議に出席するため、対馬へ行ってきました。対馬といえば渡り鳥の宝庫で、奄美にやって来る鳥の中にも、アカハラダカのように対馬を通ったと考えられる鳥がいます。ですが今回は鳥ではなく、対馬の象徴とも言えるツシマヤマネコが主役です。対馬のセンターでは病気で野外に放すことができなくなったヤマネコを一般に公開しています。ヤマネコを第一に考えた施設の設計、見学する際の様々なルール作りとその徹底など、生きた動物の飼養と公開は並大抵の事ではできないことを痛感しました。そして来館者にも、見学の前に注意点をまとめたビデオを必ず見る事や（左）、



一度に見学する人数も制限するなど、ヤマネコへの配慮が求められます。しかし啓発への貢献は大きく、野外では滅多に会えないヤマネコを見学し、地元からも多くの人が来館するそうです。私もヤマネコを見るのは初めてで、尾や脚が太くてどっしりした姿に逞しさを感じました。しかし、環境改変や多発する交通事故、イエネコからの感染症などヤマネコの現状は決して明るくありません。様々な立場の人がヤマネコと人が共存して暮らせる対馬を作るために、今日もたくさんの努力を積み重ねています。

（センター 中村）

◎ 奄美大島情報（寄せられた情報の一部です）



日 時:2005.12.8 10:00
種 名:アマミヤマシギ
発見場所:非公開
状 況:路上に出てじっとしていた。
目 撃 者: (佐野)

日 時:2005.12.12 14:00
種 名:タゲリ
発見場所:龍郷町秋名
状 況:水田でミズのようなものを
引っ張り出していた。
目 撃 者: (中村)

日 時:2005.12.5 12:00
種 名:ヤッコソウ
発見場所:龍郷町
状 況:スダジイの木の根本に
ビッシリ生えていた。
目 撃 者: (佐野)

日 時:2005.12.23 11:00
種 名:チョウゲンボウ
発見場所:龍郷町 浦
状 況:草むらにいた
目 撃 者: (迫田)

日 時:2005.12.15 14:00
種 名:ウミネコ
発見場所:名瀬市
状 況:漁港のまわりを飛回って
いた。
目 撃 者: (中村)

日 時:2005.11.5 13:00
種 名:ハロウエルアマガエル
発見場所:名瀬市 中勝
状 況:木の上になっていた
目 撃 者: (迫田)

日 時:2005.11.28 11:00
種 名:カワセミ
発見場所:大和村 思勝
状 況:神社前のガードレール
に止まっていた
目 撃 者: (細川)

日 時:2005.11.13
種 名:イボイモリ
発見場所:名瀬市 金作原
状 況:小雨の中地面をはって
いた
目 撃 者: (山室)

日 時:2005.12.20 12:00
種 名:セグロカモメ
発見場所:笠利町
状 況:若鳥で嘴に釣針がひっ
かかっていた。
目 撃 者: (中村)

日 時:2005.11.23 11:00
種 名:ソリハシセイタカシギ
発見場所:笠利町
状 況:川の中でくちばしを左右
振って餌食中
目 撃 者: (永井)

日 時:2005.12.9 16:00
種 名:クロサギ
発見場所:笠利町
状 況:白と黒の両方がいた。
目 撃 者: (佐野)

日 時:2005.11.30 11:00
種 名:アマミヤマタカマイマイ
発見場所:住用村 林内
状 況:
目 撃 者: (迫田)

日 時:2005.12.8 10:00
種 名:シロハラクイナ
発見場所:瀬戸内町 加計呂麻島
状 況:橋の側を横断していった
目 撃 者: (中村)

日 時:2005.12.8 10:00
種 名:アマミノクロウサギ
発見場所:非公開
状 況:斜面を駆け上がっていた
目 撃 者: (中村)

1:250,000

冬にみられる野生生物

※参考文献：図鑑奄美の野鳥：日本の野鳥590

「ズグロカモメ」 チドリ目 カモメ科 全長32cm 冬鳥

ユリカモメに似ているが、少し小さくてくちばしが短い。背と翼の上面は淡い青灰色で、翼の前縁から初列風切の外側が白く、先端に黒斑がある。冬羽では頭部が白く目の後方に黒斑があり、夏羽では頭部全体が黒くなり、くちばしは黒くて足が赤い。若鳥は翼の上面にM字型の黒斑があり、尾の先にも黒斑があり足は褐色である。冬鳥と渡来するが、九州地方以外では希である。奄美へは主に冬鳥として、海岸や干潟などに少数が渡来する。

鳴 き 声：ギリィ、キュッ、など。

生息時期：10月～12月6月



「ソリハシセイタカシギ」 チドリ目 全長43cm 旅鳥

雄雌同色。全体的に白黒のモノトーンで、嘴が上に反り、長い足を持つ非常に特徴的なシギ。嘴は黒くて先は上に反っており、足は長くて青灰色。嘴を大きく左右に振りながら、採餌するのが特徴的。雄は虹彩が赤褐色で、雌は茶褐色。幼鳥は頭部から上面が褐色みを帯びる。

生息分布：北海道、本州、九州、沖縄など

鳴 き 声：リィ、ホイッと鳴く



後 記

いつも冬になるとセンター周辺の芝生や道路沿いで餌を探して歩いていたシロハラの姿が今季は見かけられません。キセキレイやハクセキレイなどは見られますが、小鳥たちの数が少ない冬となっています。一方センター前にできた公園の池にはカルガモ2羽とコガモ3羽が来ていて餌を探しています。

編集・発行：奄美自然体験活動推進協議会事務局

☐ 〒894-3192

鹿児島県大島郡大和村大和浜100

大和村役場 企画財政課

TEL：0997-57-2111

☐ （連絡・書類等送付先）

〒894-3104

鹿児島県大島郡大和村思勝字腰ノ畑551

奄美野生生物保護センター内

TEL：0997-55-8620

FAX：0997-55-8621